

北九州

10/1
2015
平成27年 No.1251



各種申請手続き、市政について
北九州市コールセンター

☎671-8181 年中無休
8時~21時

夜間・休日の病気やけがについて
テレフォンセンター

☎522-9999

家庭の粗大ごみの収集申し込みについて
粗大ごみ受付センター

☎592-5300

http://www.sodai-kitakyushu.net/
ホームページからも申し込み可

道路の破損、公園の不備などについて
生活環境パトロール

☎0120-790810

月~金曜日(祝日は除く)の8時30分~17時

編集・発行 北九州市広報室広報課 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 ☎(093)582-2236 FAX(093)582-2243

北九州市ホームページ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

トピックス 「地域ふれあいトーク「北九州市の地方創生への取り組みについて」」など... 234
「市政テレビ」「広域連携コーナー」... 4
好きっちゃ! 北九州 ひまわり「絵本作家・イラストレーター 橋本悦代さん」など... 5

主な内容

※最終ページは若松区の情報



早朝から活気に満ちた市場

今年で開設40周年を迎えた中央卸売市場は、青果棟、水産棟、関連商品売場棟などからなる本市の拠点市場です。国内外から卸売業者が新鮮な生鮮食品を集め、それらを仲卸業者や小売業者にせりなどの方法で販売します。せりは、その後の流通価格の基本となり、適正な価格を保つ役割もあります。また市場は、自然条件に左右されやすく計画的な生産が困難な農業・漁業生産者にとって、継続的で安定した出荷先であるとともに、生産者と消費者をつなぐパイプ役でもあります。

市場の朝は早く、青果の場合、5時ごろには仲卸業者や小売業者がその日のせりかけられる品物を下見して回ります。そして、せりが始まる7時から一気に市場は活気づきます。せりを取り仕切る「せり子」が、せり台の上から独特の節がある口上で品物を売りさばっていきます。とても早口なせり子ですが、品物の産地や数量、等級は必ず言わなければなりません。1時間程でせりは終わりますが、そこから始まるのが競り落とされた品物の搬出作業です。荷をいっばいに積んだトラックが次々と市場を後にします。それが落ちてくると、次は入れ替わるようにして、生産者たちが翌日せりにかける品物の納品に訪れます。このように、市場では日々大量の品物が入りしています。

また、市場では小学生を対象に、冷凍のマイナス50℃体験やせり体験をつなぐパイプ役でもあります。

公設地方卸売市場 市民感謝デー

魚のタッチプールや
つりぼり、マグロ・にぎ
りずし・海鮮丼の販売、
その他家族で楽しめる
イベントが盛りだくさん
です。

日時 10月10日⑤、11月14日⑤9~12時
場所 公設地方卸売市場(中央卸売市場内)
水産棟仲卸店舗・せり場
市民感謝デー実行委員会事務局 ☎583・2030

市場の1日と取り組み

市場の朝は早く、青果の場合、5時ごろには仲卸業者や小売業者がその日のせりかけられる品物を下見して回ります。そして、せりが始まる7時から一気に市場は活気づきます。せりを取り仕切る「せり子」が、せり台の上から独特の節がある口上で品物を売りさばっていきます。とても早口なせり子ですが、品物の産地や数量、等級は必ず言わなければなりません。1時間程でせりは終わりますが、そこから始まるのが競り落とされた品物の搬出作業です。荷をいっばいに積んだトラックが次々と市場を後にします。それが落ちてくると、次は入れ替わるようにして、生産者たちが翌日せりにかける品物の納品に訪れます。このように、市場では日々大量の品物が入りしています。

市場に出掛けてみませんか

中央卸売市場は、仲卸業者や小売業者などへ卸売りをするための市場であるため、一般の人の入場は制限されていますが、10時からは市民も入場することができます。水産関係は11時ごろ、青果関係は12時ごろ、食堂などがある関連商品売場棟は13時ごろまで営業しています。休みは日曜日、祝・休日と水曜日(不定期)です。

新鮮な食材が豊富に揃う中央卸売市場へ、一度出掛けてみませんか。

中央卸売市場ってどんなところ?

今年で開設40周年を迎えた中央卸売市場は、青果棟、水産棟、関連商品売場棟などからなる本市の拠点市場です。国内外から卸売業者が新鮮な生鮮食品を集め、それらを仲卸業者や小売業者にせりなどの方法で販売します。せりは、その後の流通価格の基本となり、適正な価格を保つ役割もあります。また市場は、自然条件に左右されやすく計画的な生産が困難な農業・漁業生産者にとって、継続的で安定した出荷先であるとともに、生産者と消費者をつなぐパイプ役でもあります。

市場の1日と取り組み

市場の朝は早く、青果の場合、5時ごろには仲卸業者や小売業者がその日のせりかけられる品物を下見して回ります。そして、せりが始まる7時から一気に市場は活気づきます。せりを取り仕切る「せり子」が、せり台の上から独特の節がある口上で品物を売りさばっていきます。とても早口なせり子ですが、品物の産地や数量、等級は必ず言わなければなりません。1時間程でせりは終わりますが、そこから始まるのが競り落とされた品物の搬出作業です。荷をいっばいに積んだトラックが次々と市場を後にします。それが落ちてくると、次は入れ替わるようにして、生産者たちが翌日せりにかける品物の納品に訪れます。このように、市場では日々大量の品物が入りしています。

市場に出掛けてみませんか

中央卸売市場は、仲卸業者や小売業者などへ卸売りをするための市場であるため、一般の人の入場は制限されていますが、10時からは市民も入場することができます。水産関係は11時ごろ、青果関係は12時ごろ、食堂などがある関連商品売場棟は13時ごろまで営業しています。休みは日曜日、祝・休日と水曜日(不定期)です。

新鮮な食材が豊富に揃う中央卸売市場へ、一度出掛けてみませんか。

全国から野菜・果物・魚介が集まる市民の会所

特集 開設40周年 中央卸売市場

中央卸売市場は、それまで市内各所に散在していた青果市場と魚市場を統合し、昭和50年に誕生した本市の拠点市場です。日常生活に欠かせない野菜、果物、魚介類等の生鮮食品を国内外から集め、せりなどの方法で適正な価格をつけることで、市民の食生活の安定や、農業・漁業生産者の計画的な生産を支援しています。今回は、中央卸売市場の歴史や役割、食の安全・安心への取り組みなどについて特集します。



せりを仕切る「せり子」
小さな黒板に価格を書いてせり子に見せる
せりはほんの数秒で勝負が決まる